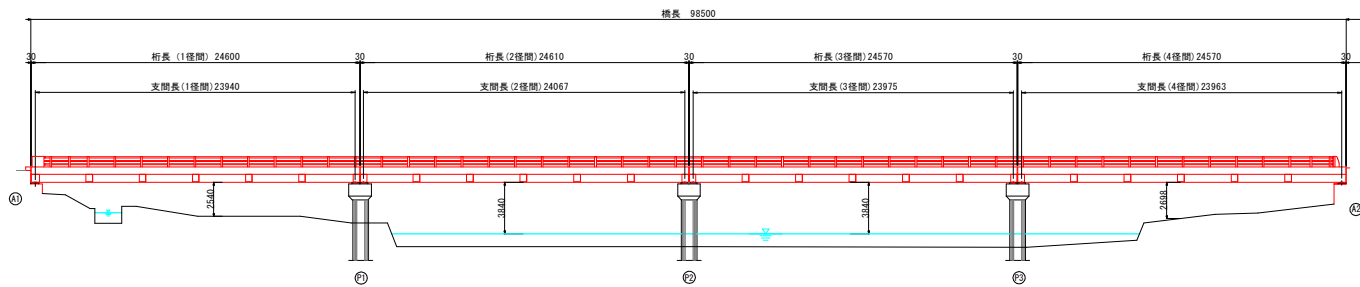
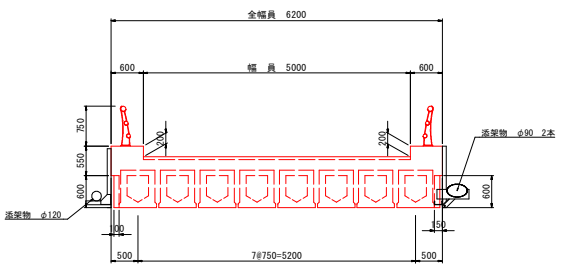


高崎橋 現況一般図

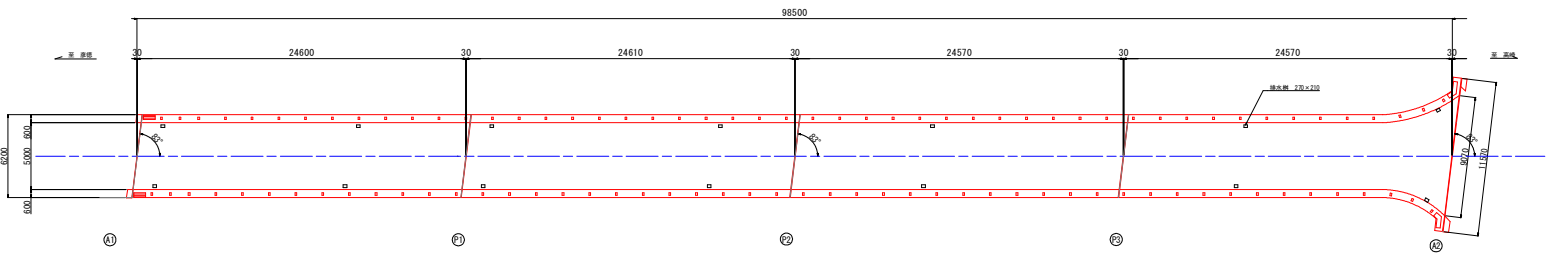
側面図 S=1:200



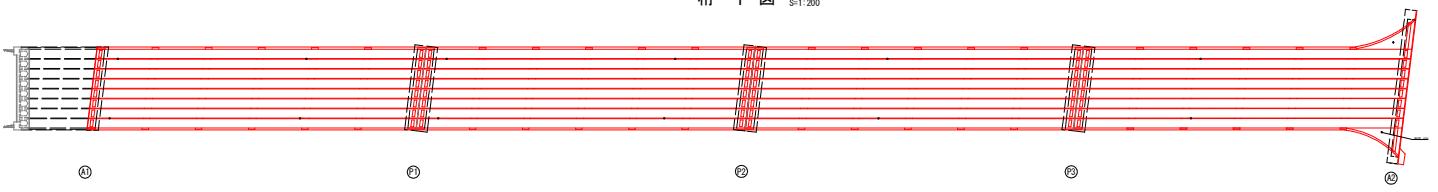
標準断面図 S=1:50



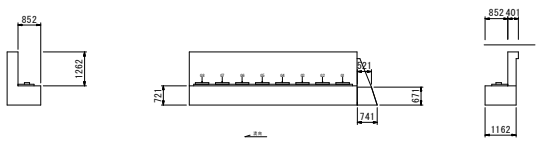
平面図 S=1:200



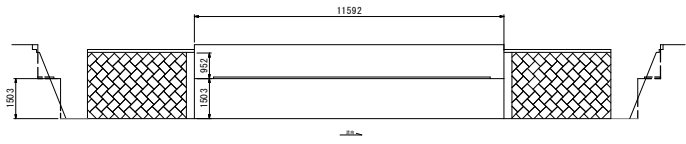
桁下図 S=1:200



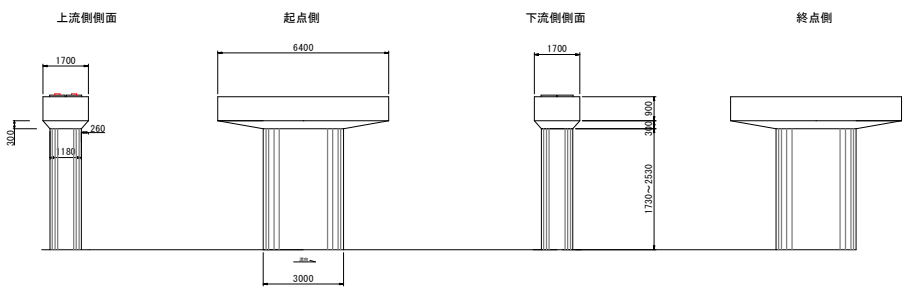
A1橋台 S=1:100



A2橋台 S=1:100



P1~P3橋脚 S=1:100



工事名	高崎橋橋梁補修工事		
図面名	高崎橋 現況一般図		
作成年月日			
縮尺	図示	図面番号	/
会社名			
事業者名	みやこ町 都市整備課		

高崎橋 補修一般図

側面図 S=1:200

標準断面図 S=1:50

平面図 S=1:200

【補修工法一覧表】

	補修内容	単位	数量	部位
ひび割れ補修工	注入：エポキシ樹脂3種	m	8.050	地覆
断面修復工（防錆処理無）	ポリマーセメントモルタル	m3	0.002	地覆
舗装工	再生密粒度アスコン(13)	m2	483.237	橋面
橋面防水工	塗膜系防水	m2	483.237	橋面
伸縮装置補修工	荷重支持型（表面鋼製ジョイント）	m	29.262	橋面（伸縮装置）

桁下図 S=1:200

A1橋台 S=1:100

P1～P3橋脚 S=1:100

A2橋台 S=1:100

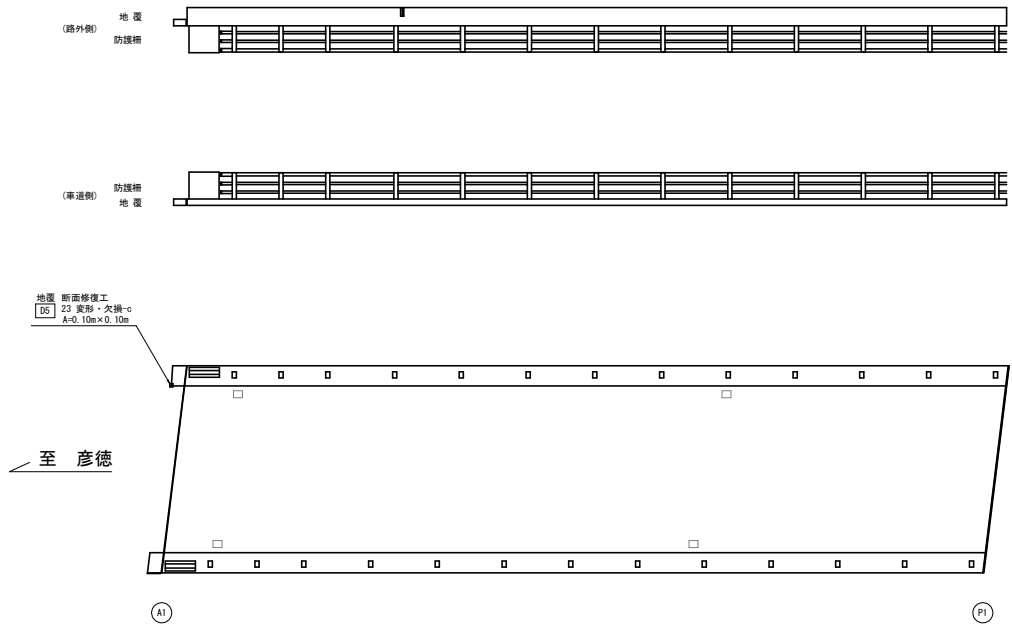
注) 1. 着工前には必ず現況計法実測を行い、図面・数量照合等の確認の後、施工を行う事。

工事名	高崎橋架補修工事		
図面名	高崎橋 補修一般図		
作成年月日			
縮尺	図示	図面番号	/
会社名			
事業者名	みやこ町 都市整備課		

高崎橋 橋面工補修図(1)

橋 面 工 S=1:80

A1-P1径間



断面修復数量(左官工法)

番号	寸 法 (m)	面積 (m ²)		備考
		リシ・防錆有	リシ・防錆無	
橋面工 (A1-P1径間)				
D5	0.10 × 0.10		0.010	変形・欠損
合計	修復面積	m ²		0.010 m ²

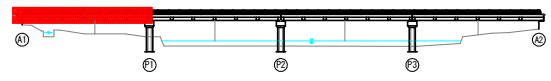
※ 断面修復工法：ポリマーセメントモルタル
※ 修復深さ：50mm（推定値）

凡例	
記 号	補 修 内 容
D	断面修復工

ひびわれ補修区分	
ひびわれの長さ	色 示
長さ 2mm未満	黒
長さ 2mm以上 → 5.0mm未満	青
長さ 5.0mm以上	赤

型式の凡例	
型式の凡例	色 示
ひびわれ	黒
割 隙	黒
鉄筋面	黒
道路石段	黒
溝 水	黒
う ろ き	黒
腐 食	黒
そ の 他	黒

位置図



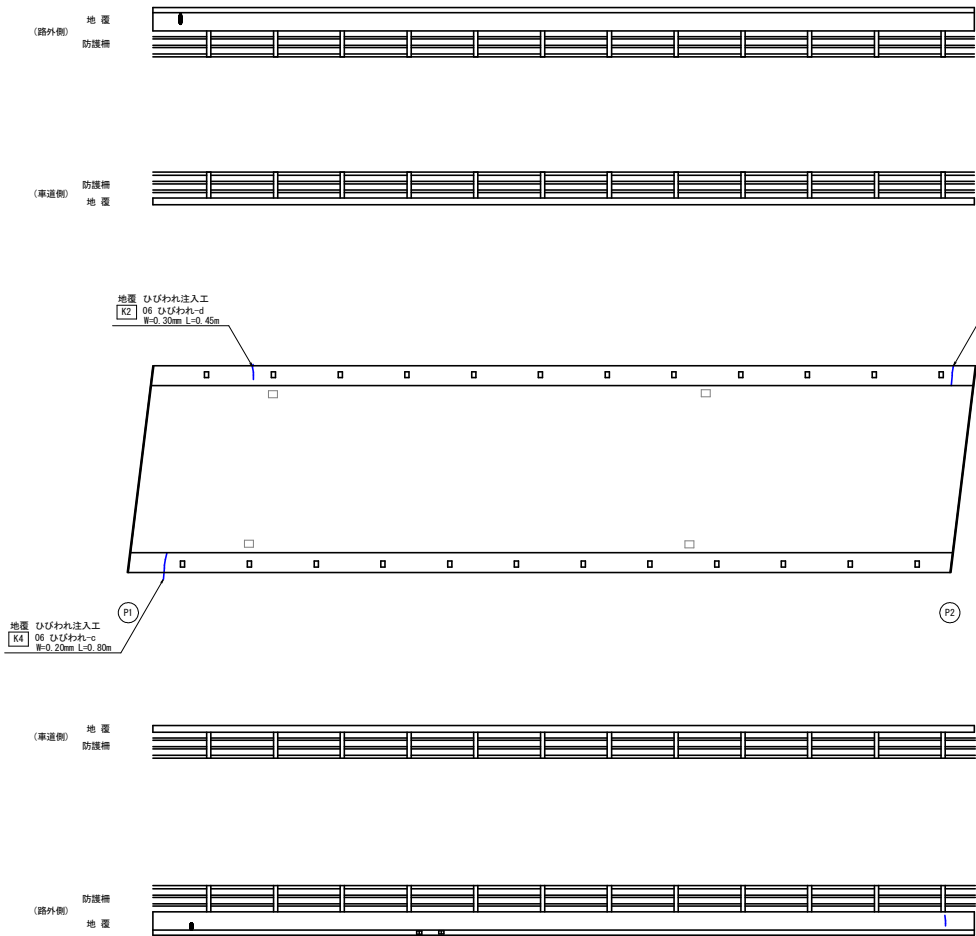
注)
1. 着工前には必ず現況寸法実測を行い、図面・数量照合等の確認の後、施工を行う事。
2. 断面修復厚等については、あくまで推定値となることから
現場施工時数量精査を行うこととする。

工事名	高崎橋 橋面工補修工事		
図面名	高崎橋 橋面工補修図(1)		
作成年月日			
縮 尺	図 示	図面番号	/
会社名			
事業者名	みやこ町 都市整備課		

高崎橋 橋面工補修図(2)

橋 面 工 S=1:80

P1-P2径間



ひびわれ注入数量 (0.20mm以上～5.00mm未満)

番号	ひびわれ幅 (mm)	ひびわれ長さ (m)	備 考
橋面工 (P1-P2径間)			
K2	0.30	0.45	
K3	0.20	0.60	
K4	0.20	0.80	
合計			
(ひびわれ幅) 0.20 mm		1.400 m	
(ひびわれ幅) 0.30 mm		0.450 m	

※ ひびわれ注入工法：エポキシ樹脂3種

※ ひびわれ深さ：50mm (推定値)

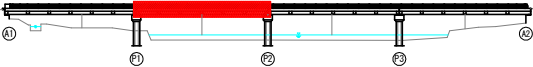
凡例

記 号	補 修 内 容
K	ひびわれ注入工

ひびわれ幅区分	色 示
幅0.20mm未満	黒 色
幅0.20mm以上～0.50mm未満	青 色
幅0.50mm以上～0.80mm未満	赤 色
幅0.80mm以上	黄 色

記号の凡例	色 示
実測の補修	黒 色
ひびわれ	青 色
割 断	赤 色
鉄筋断面	黒 色
道路石段	赤 色
溝 水	赤 色
う ち	赤 色
溝 溝	赤 色
そ の 他	赤 色

位置 図



注)
1. 着工前には必ず現況寸法実測を行い、図面・数量照合等の確認の後、施工を行う事。
2. ひびわれ深さ・断面修復厚等については、あくまで推定値となることから現場施工時数量精査を行うこととする。

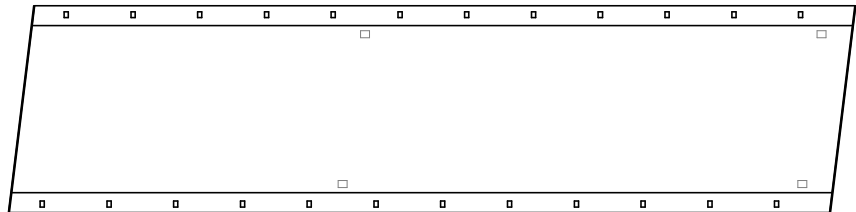
工事名	高崎橋 橋面工補修工事		
図面名	高崎橋 橋面工補修図(2)		
作成年月日			
縮 尺	図 示	図面番号	/
会社名			
事業者名	みやこ町 都市整備課		

高崎橋 橋面工補修図(3)

橋 面 工 S=1:80

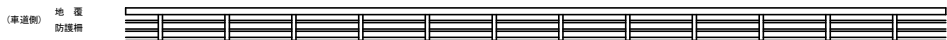
P2-P3径間

補修対象 なし

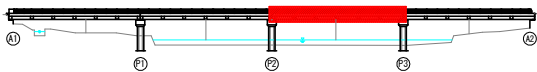


P2

P3



位 置 図



凡 例	
記 号	補 修 内 容
K	ひびわれ注入工
D	断面修復工

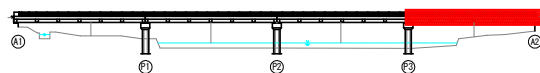
ひびわれ補修分	
深 さ	色 示
深さ 2mm未満	黒
深さ 2mm以上 → 5.0mm未満	青
深さ 5mm以上	赤

形状の凡例	
形状の種類	色 示
ひびわれ	黒
割 断	黒
鉄筋面	黒
道路石段	黒
溝 水	黒
う ろ き	黒
溝 溝	黒
そ の 他	黒

工事名	高崎橋外1橋 橋梁補修調査設計業務		
図面名	高崎橋 橋面工補修図(3)		
作成年月日			
縮 尺	図 示	図面番号	4/24
会社名	株式会社 東光コンサルタンツ		
事業者名	みやこ町 都市整備課		

注)
1. 着工前には必ず現況寸法実測を行い、図面・数量照合等の確認の後、施工を行う事。
2. ひびわれ深さ・断面修復厚等については、あくまで推定値となることから
現場施工時数量精査を行うこととする。

P3-A2 径間



変状の種類	表 示
ひびわれ	
剥 離	
鉄筋露出	
遊離石灰	
漏 水	
う き	
腐 食	
そ の 他	

工事名	高崎橋橋梁補修工事		
図面名	高崎橋 橋面工補修図(4)		
作成年月日			
縮 尺	図 示	図面番号	/
会社名			
事業者名	みやこ町 都市整備課		

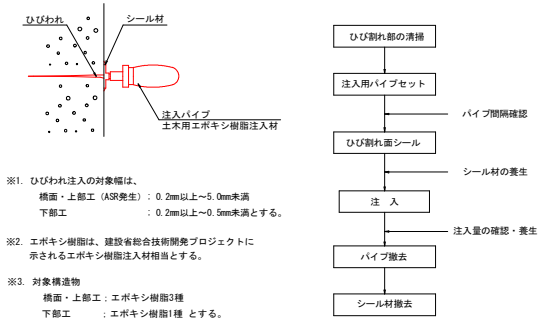
注)

1. 着工前には必ず現況寸法実測を行い、図面・数量照合等の確認の後、施工を行う事。
2. ひびわれ深さ・断面修復厚については、あくまで推定値となることから現場施工時数量精査を行うこととする。

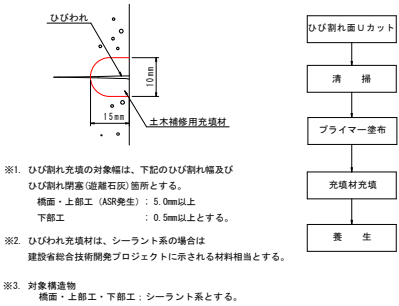
高崎橋 補修標準図

ひびわれ補修工

ひびわれ注入工法

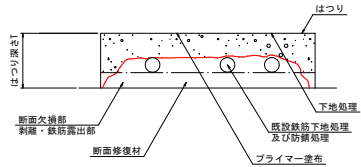


ひびわれ充填工法



断面修復工法

防錆処理が必要な場合

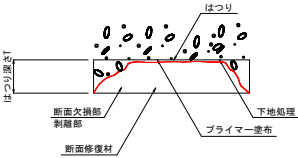


※材料に防錆剤入りものを使用する場合、見積対象となるので別途協議を行うこと。

- ※1. 劣化、不良コンクリートのはつりは、健全部に損傷を与えないよう周囲に深さ1～3cm程度切断目地を入れ、入念に施工する。
- ※2. 損傷箇所に鉄筋がある場合は、鉄筋の裏側までコンクリートをはつり取り、錆の除去・防錆、コンクリートへのプライマー塗布を行い、入念に施工すること。
- ※3. 鉄筋断面が著しく断面減少・破断している場合は添筋すること。
- ※4. 断面修復後のマクロセル腐食を極力防止するため、適切な防錆処理を施すこと。
- ※5. 断面修復材はポリマーセメントモルタルとし、NEXCO「構造物施工管理要領」記載「左官工法による断面修復」の品質規格に適合する材料を選定すること。
- ※6. 圧縮強度は母材強度と同等以上とする。



防錆処理が不要な場合



- ※1. 劣化、不良コンクリートのはつりは、健全部に損傷を与えないよう周囲に深さ1～3cm程度切断目地を入れ、入念に施工する。
- ※2. 損傷箇所のコンクリートをはつり取り、プライマー塗布を行い、入念に施工すること。
- ※3. 断面修復材はポリマーセメントモルタルとし、NEXCO「構造物施工管理要領」記載「左官工法による断面修復」の品質規格に適合する材料を選定すること。
- ※4. 圧縮強度は母材強度と同等以上とする。



ひびわれ注入補修材の要求性能

（この要求性能を参考として、同等品と認められる材料を選定するものとする）

ひびわれ補修材の性能例		(試験温度 2 0℃)			
材料の種類		土木補修用 エポキシ樹脂 注入剤	土木補修用 エポキシ樹脂 注入剤	土木補修用 エポキシ樹脂 注入剤	土木補修用 充 填 材
項 目	単 位	1 種	2 種	3 種	シーラント系
ひびわれ進行度区分		B			A、B
ひびわれ幅 (mm)		0.2mm～5.0mm			5.0mm<
粘 度	cps	1,000以下	4±1 (注－1)	1,000以下	だれを認めず
可使用時間	分	30以上	30以上	30以上	240以上
硬化時間	時間	16以内	16以内	24以内	24以内
硬化収縮	%	0.1以下	0.1以下	0.1以下	－
伸 び 率	%	－	50以上	100以上	800以上
タタキ付着強さ (乾燥面)	kgf/cm2	60以上	60以上	60以上	たわみ量 10mm以上で 破壊すること
付着力耐久 性保持率 (注－2)	%	60以上	60以上	60以上	60以上

注-1 チキントロビック係数 2 rpm/20rpmの粘度で表す。

注-2 規格に対する百分率

断面修復材 品質規格

（この要求性能を参考として、同等品と認められる材料を選定するものとする）

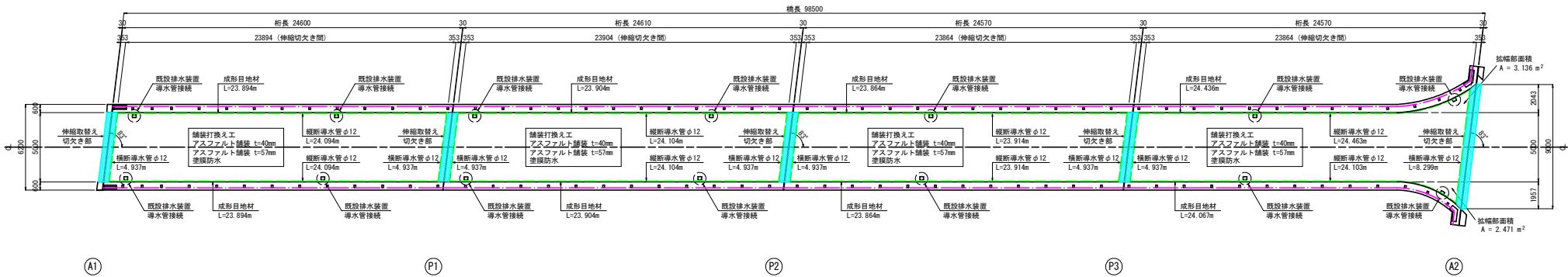
※ひびわれ充填材に使用するポリマーセメントモルタルの品質規格は下記を満足する製品を使用すること

左官工法による断面修復材（ポリマーセメントモルタル）の性能照査項目			
要求性能	試験項目	試験体の履歴条件	基準値
断面の修復に要する性能	硬化時間	—	断面修復材の硬化時間は1時間以上であること
	断面修復材料の外観（塗装無し）	温冷繰り返し試験後	断面修復材は均一で、われ、はがれ、ふくれのないこと
	硬化収縮性	—	硬化収縮率 0.05%以下
	熱膨張性	硬化収縮試験後	熱膨張係数 $2.0 \times 10^{-4}/^{\circ}\text{C}$ 以下
	コンクリートとの付着性	湿潤時	付着強度 1.5N/mm2以上
		耐アルカリ性試験後	
		温冷繰り返し試験後	付着強度 1.0N/mm2以上
	塗装装填との付着性	温冷繰り返し試験後	
力学的性能	圧縮強度	—	母材強度と同等以上であること

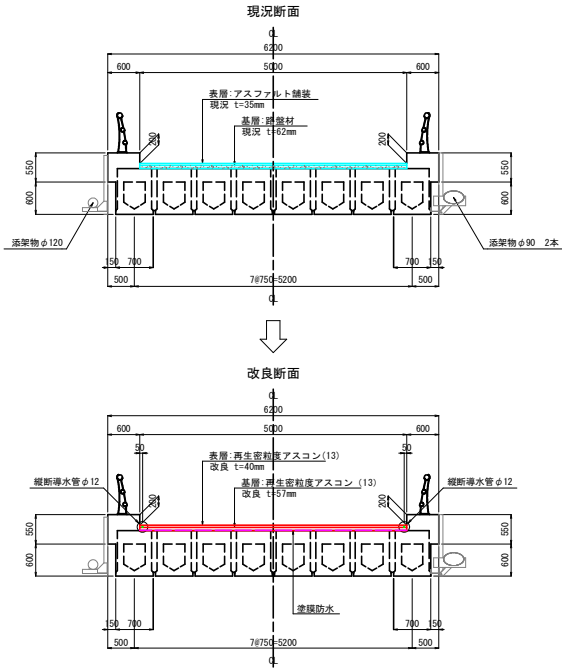
工事名	高崎橋補修標準工事		
図面名	高崎橋 補修標準図		
作成年月日			
縮 尺	図 示	図面番号	/
会社名			
事業者名	みやこ町 都市整備課		

高崎橋 橋面改良工詳細図

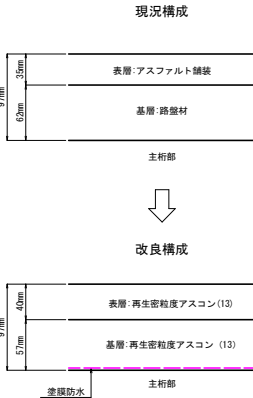
平面図 S=1:200



断面図 S=1:50

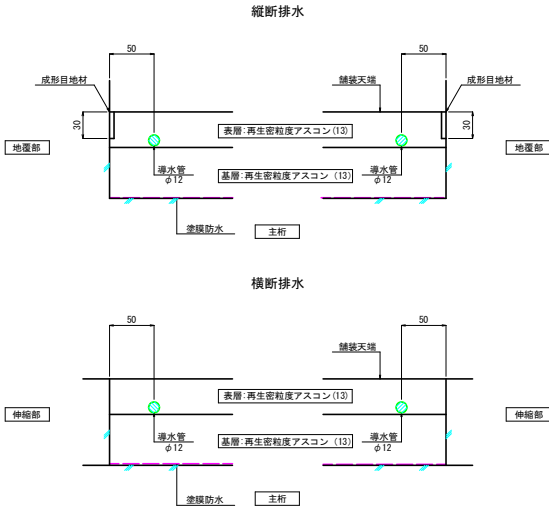


舗装構成 S=1:3



注) 打替えは全面打替えとし、主桁上面に遮断防水とする。

防水詳細図 S=1:3



数量表 (橋面改良工)

名 称	規 格	単 位	数 量					備 考
			A1-P1区間	P1-P2区間	P2-P3区間	P3-A2区間	合 計	
舗装工								
舗装構成	表層:再生密粒度アスコン(13)	m ²	119.470	119.520	119.320	124.927	483.237	t=40mm
	基層:再生密粒度アスコン(13)	m ²	119.470	119.520	119.320	124.927	483.237	t=57mm
防水工								
防 水 層	遮断防水	m ²	119.470	119.520	119.320	124.927	483.237	
導 水 管	縦断:スプリング管φ12	m	48.188	48.208	47.828	48.566	192.790	既設排水装置接続
	横断:スプリング管φ12	m	9.874	9.874	9.874	13.236	42.858	
成形目地材	b=30, t=5	m	47.788	47.808	47.728	48.503	191.827	セロシールSS同等品以上

注1) 導水管は、溶融亜鉛メッキ(00235)と同等品以上とする。
また、導水管の継手の重ね幅は、5cm以上とする。
注2) 導水管は、既設排水装置に差し込む。(全ヶ所)

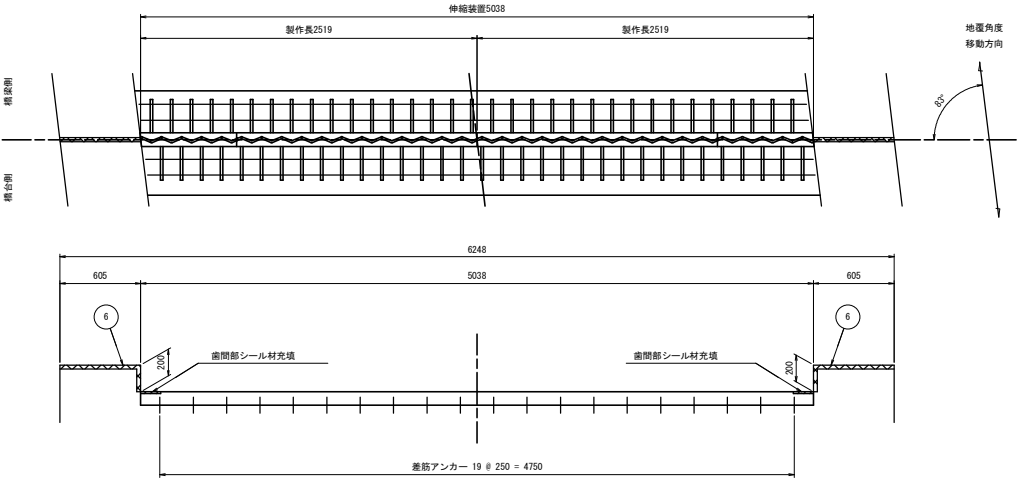
注)
1.着工前には必ず現況寸法実測を行い、図面・数量照合等の確認の後、施工を行う事。

工事名	高崎橋 橋面改良工詳細図		
図面名	高崎橋 橋面改良工詳細図		
作成年月日			
縮 尺	図 示	図面番号	/
会社名			
事業名	みやこ町 都市整備課		

高崎橋 伸縮装置取替え詳細図(1)

A1

金物設置図 S=1:20



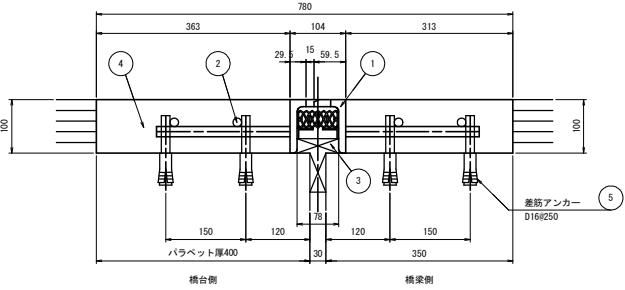
材 料 表 (1箇所あたり)×1式					
番号	名 称	材 質	単 位	数 量	記 事
1	伸縮装置	SS400	m	5.038	KMSⅡ-20タイプ
2	補強鉄筋	SD345	kg	31.20	D16×5.0m×4本
3	遊間部埋込型枠	発泡スチロール	m ³	0.04	100×78×5.2m
4	コンクリート	超硬コンクリート	m ³	0.34	φ3h=2.4N/mm ²
5	差筋アンカー	SD345	本	80	D16
6	シール材	シリコン系	パッキン	1.45	30×30×805×2箇所

参考除去数量				
	既設伸縮装置		m	5.038
	コンクリート		m ³	0.34

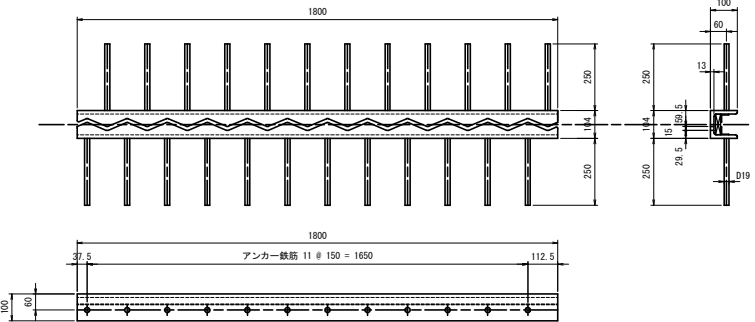
設 計 条 件		注 記
温度範囲	-5℃～+35℃	
温度変化伸縮量	4.9mm	
常時伸縮量	14.9mm	
		1. 施工において図面相当品とする
		2. 伸縮装置の割付は施工計画に従って決定すること
		3. 既設の床版鉄筋は極力切断しないこと
		4. カッター巾・箱抜き深さは現場の状況によって変更すること
		5. 差筋アンカーは既設鉄筋で代用可能な場合は不要とする
		6. 伸縮装置端部の遊間部には漏水軽減のためにシール材を充填すること
		7. 着工前には必ず現地計測のうえ製作・施工を実施すること

伸縮装置断面図 S=1:5

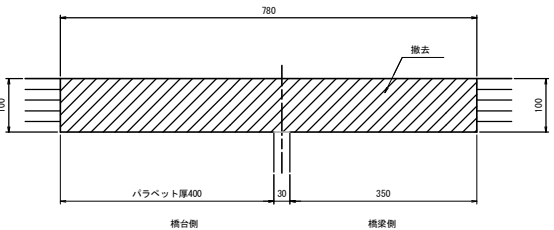
(0.780-0.104)×0.100×5.038=0.34 m³



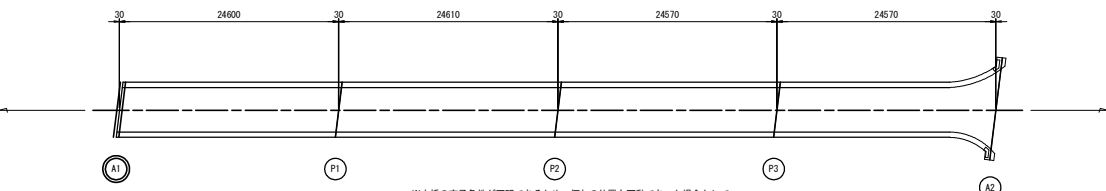
伸縮金物図 S=1:10



既設撤去断面図 S=1:5



配置図



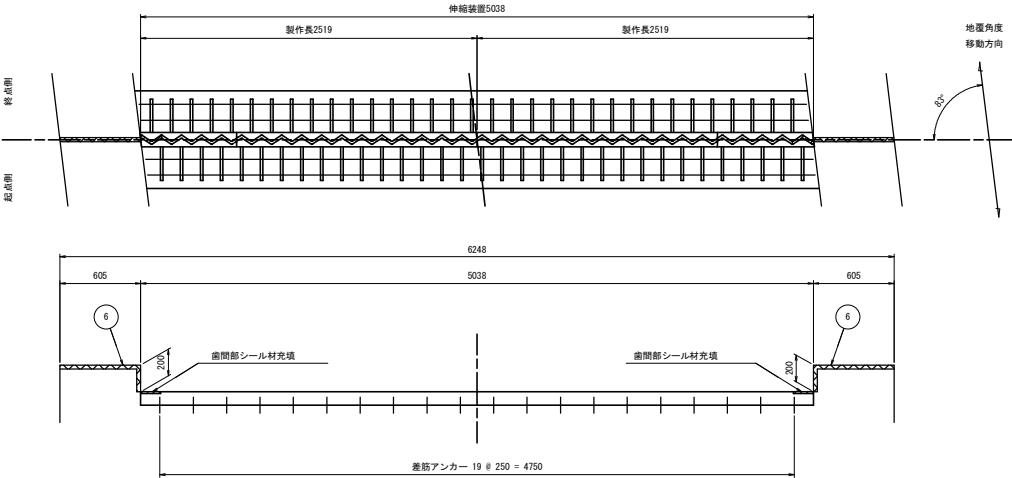
※本橋の支承条件が不明であるため、何れの位置も可動であった場合として安全側に考慮して検討を行う。

工事名	高崎橋橋梁補修工事
図面名	高崎橋 伸縮装置取替え詳細図(1)
作成年月日	
縮 尺	図 示
図面番号	/
会社名	
事業名	みやこ町 都市整備課

高崎橋 伸縮装置取替え詳細図(2)

P1, P2, P3

金物設置図 S=1:20



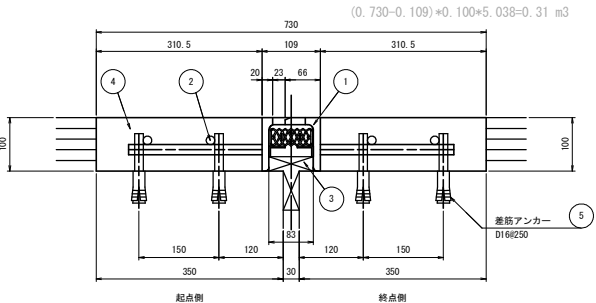
材 料 表 (1箇所あたり)×3式					
番号	名 称	材 質	単 位	数 量	記 事
1	伸縮装置	SS400	m	5.038	KMSⅢ-355タイプ
2	補強鉄筋	SD345	kg	31.20	D16×5.0m×4本
3	遊間部埋込型枠	発泡スチロール	m ³	0.04	100×83×5.2m
4	コンクリート	超硬コンクリート	m ³	0.31	φ3h=24N/mm ²
5	差筋アンカー	SD345	本	80	D16
6	シール材	シリコン系	パツ	1.45	30×30×805×2箇所

参考除去数量				
	既設伸縮装置		m	5.038
	コンクリート		m ³	0.31

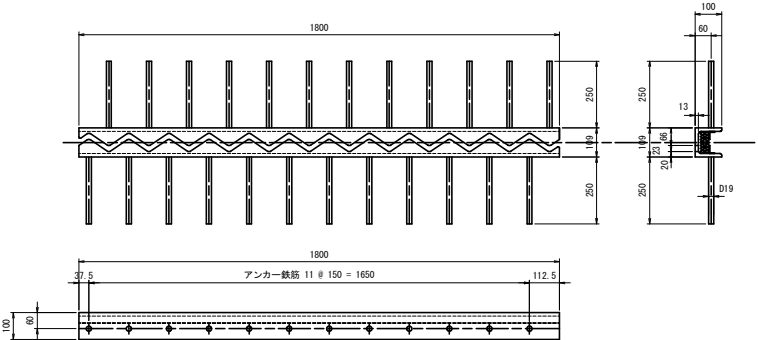
設 計 条 件	
温度範囲	-5℃~+35℃
温度変化伸縮量	9.8mm
常時伸縮量	19.8mm

- 注記
1. 施工において図面相当品とする
 2. 伸縮装置の割付は施工計画に従って決定すること
 3. 既設の床版鉄筋は極力切しないこと
 4. カッター巾・箱抜き深さは現場の状況によって変更すること
 5. 差筋アンカーは既設鉄筋で代用可能な場合は不要とする
 6. 伸縮装置端部の遊間部には漏水軽減のためにシール材を充填すること
 7. 着工前には必ず現地計測のうえ製作・施工を実施すること

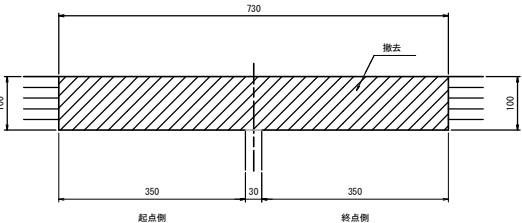
伸縮装置断面図 S=1:5



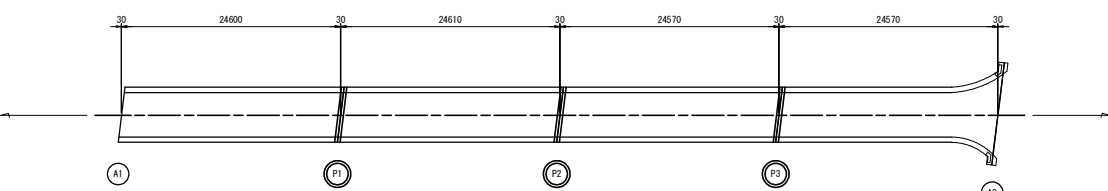
伸縮金物図 S=1:10



既設撤去断面図 S=1:5



配置図

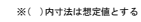


※本橋の支承条件が不明であるため、何れの位置も可動であった場合として安全側に考慮して検討を行う。

工事名	高崎橋梁補修工事		
図面名	高崎橋 伸縮装置取替え詳細図(2)		
作成年月日			
縮 尺	図 示	図面番号	/
会社名			
事業者名	みやこ町 都市整備課		

A2

S=1:20



S=1:5



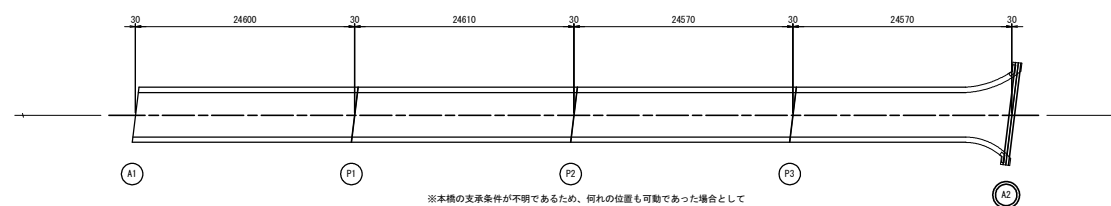
S=1:10

S=1:5



※本橋の支承条件が不明であるため、何れの位置も可動であった場合として安全側に考慮して検討を行う。

1. 施工において図面相当品とする
2. 伸張装置の割付は施工計画に従って決定すること
3. 既設の床版鉄筋は極力切断しないこと
4. カッター機・落抜き深さは現場の状況によって変更すること
5. 差筋アンカーは既設鉄筋で代用可能な場合は不要とする
6. 伸張装置端部の宙間部には漏水軽減のためにシール材を充填すること
7. 幅員の拡張を伴っているため、現地踏査を行い製・施工延長を決定すること



工事名	高崎橋橋梁補修工事		
図面名	高崎橋 伸縮装置取替え詳細図(3)		
作成年月日			
縮 尺	図 示	図面番号	/
会社名			
事業者名	みやこ町 都市整備課		